

殺人に関する短いフィルム (1987)

KROTKI FILM O ZABIJANIU
A SHORT FILM ABOUT KILLING

メディア 映画
ジャンル ドラマ サスペンス
製作国 ポーランド
色彩 Color
時間 85分
初公開日 1989/07/22
公開情報 ヘラルド・エース=ヘラルド
リバイバル 2003/04/03 [ビターズ・エンド]

【解説】

ある一人の青年が衝動殺人に至り、そして極刑を執行されるまでを克明に追って描いた衝撃作。青年は、タクシーを拾い、町外れの川堤まで走らせた。停車させた所でその青年は突然バックから白いひもを取り出し、タクシー運転手の首を後ろから締める。強く抵抗する中年男のハンドルを握る手を棒で叩きつぶし、車から引きずり出した青年は、血だらけの男の顔に毛布をかぶせ、大きな石を両手で掴んで一撃二撃と降りおろした。弁護士は彼の死刑中止を訴えたが、その熱弁も空しく、ついに最後の朝がやって来る……。ポーランドの抱える様々な矛盾や問題点をしっかりした視点で捉え、告発する姿勢を保ち続けているクシシュトフ・キエシロフスキー監督の描くこの作品は、まるでこの主人公の後をつけて撮った様なリアリズム溢れるドキュメンタリー・タッチの映像に加え、常に冷めた視線でこのテーマを描いている。もっとも根源的な人間の抱える矛盾と常に対峙して来た、キエシロフスキー監督が提示する強烈なメッセージであると同時に、傑作と呼べる1本である。

【クレジット】

監督	クシシュトフ・キエシロフスキー	Krzysztof Kieslowski
脚本	クシシュトフ・キエシロフスキー	Krzysztof Kieslowski
	クシシュトフ・ピエシエヴィッチ	Krzysztof Piesiewicz
撮影	スワヴォミール・イジャック	Slawomir Idziak
音楽	ズビグニエフ・プレイスネル	Zbigniew Preisner
出演	ミロスワフ・バカ	Miroslaw Baka
	クシシュトフ・グロビシュ	Krzysztof Globisz